

駒の館だより

明治鍼灸大学図書館報

第 16 号

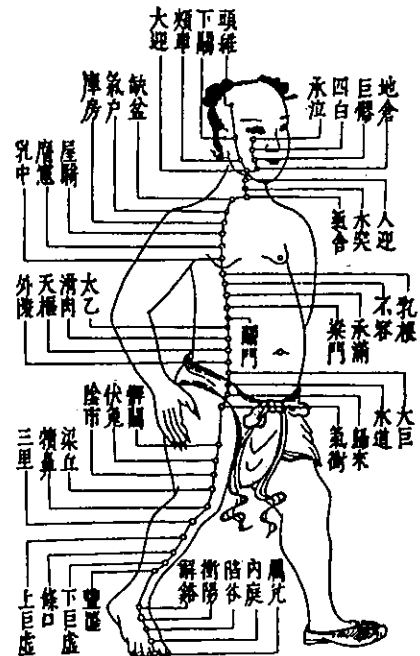
平成 9 年 3 月 1 日 発行

明治鍼灸大学附属図書館

〒629-03 京都府船井郡日吉町
TEL. 0771-72-1181(代)

目 次

- 学長おおいに図書館を語る 米澤 猛 ... 2
- 図書館よりのお知らせ 附属図書館 ... 3
- 自著を語る 松本 勅 ... 4
- 運営委員会記事 附属図書館 ... 5
- 図書館へちょっと一言 吉村晶、阿部歩、梅田雅宏 ... 6
- 私のお薦めの一冊
..... 森本安夫 ... 9
- 図書館データ、データ
..... 附属図書館 ... 11
- 図書館学蘊蓄
..... 福田代見 ... 15
- 新着東医系図書及び
医学系視聴覚資料一覧
..... 附属図書館 ... 17



学長おおいに図書館を語る

— 図書館の目的とその意義—博士課程の完成年度に当たって—

学長 米 澤 猛

本学も今年度を期して博士後期課程いわゆる、ドクターコースが完成する。鍼灸学における高等教育制度を我が国で唯一完成させたことになる。残された問題は内部的な施設、設備、制度の充実であろう。もちろんそれに相応しい人材を輩出させることは最重要な要件となろう。ここでは図書館に対する要望とそのあるべき姿を述べてみよう。

大学内で図書館の置かれている立場とその役割は極めて大きい。殊に我々を取り巻く社会、すなわち医療、教育、研究に関係する社会においては、日々に変化する環境や情報に直ちに対応してゆかねばならない。学生諸君に従来のそして今では誤りとなった古い知識や技術を教授するわけにはいかないし、ましてや臨床の場では古くて誤った知識や技術は深刻な問題となるだろうからである。図書館はこの目的のために中心的役割を演ずる必要がある。日々発表される数多くの内外の情報や文献に対し速やかに対処反応し、医療、教育、研究に反映させねばならない。そのためにも一方では外部の情報を取り入れ、他方では内部の資料を要求に応じ提供し得る設備が揃っている必要がある。例えば先般来問題となっている狂牛病の場合、現在我々が日々使用している鍼を介して感染が起り得ることを考えると、我々の対処の仕方も変わってくるであろう。事実そのような感染例が報告され警告が発せられている。このプリオン病は潜伏期間が長く発病に数年を要すること、その病原体に対し通常の消毒薬による滅菌は無効であることも明らかにされている。このような情報はいち早く報道機関により伝えられるであろうが、本学では鍼を使用するという特殊な治療法

を用いるため、より詳細な情報を入手し速やかな対応が取られればならず、関係する情報の交換や文献の入手は図書館を通じて活発にさせるべきものであろう。そのような情報を提供し得る設備と制度を具備した図書館であることが望ましい。

また鍼灸が伝承医学の要素を多く含むということから、鍼灸の古い文献や資料は東洋思想ないし仏教哲学との繋がりが多く、それらの多くの文献は寺院等に保存されているものが多いと聞いている。それらの資料に関しても現状の把握、保存、分類等といった整備が求められる。それらも図書館の役割となるべきであろう。このような情報の入り口の一つに図書館が位置づけられる。我々の周囲にある数多くの情報ないし資料を手許に置くことはその数からいっても、その量から考えても不可能であろう。幸いなことに昨今著しく進歩してきた通信機器を整え、それらの情報を分類管理し必要に応じて取り出し大いに利用すべきである。それには図書館員の充実と通信機器の整備が急務であり望まれるところである。加えて資料の交換ないし貸借制度を完備する必要がある。まして本学では鍼



完成した鍼灸大学駅前、1996年4月12日撮影、まだまだ薄ら寒い景色。今後の発展は？

灸を対象とするという特殊な役割に鑑み、関連する資料を完備することそれらを求めに応じて提供することは本学の責務といえよう。言い換えれば本学の図書館は鍼灸医療の諸情報の発進基地としての存在であることへの認識を持つべ

きであり、それに向かっての努力が必要である。特に鍼灸医療という特殊な領域を対象とする我々にとり、図書館は鍼灸学さらに鍼灸医療への重要な突破点となり得る。

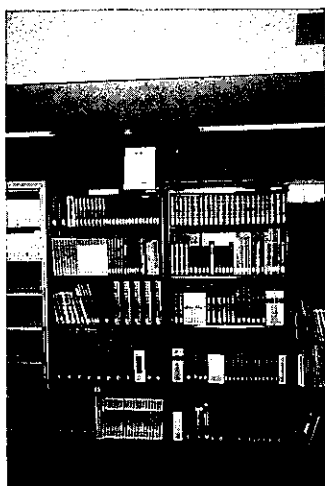
図書館よりのお知らせ

1. 山口記念文庫の開設

平成7年12月20日に逝去された英語担当の故山口教授のご遺族より故人の蔵書約4,000冊の寄贈を頂きました。ついてはそれらのうち、故人の専門分野であるダンテの神曲、語学、生前造詣の深かった日本の古典および留学先であるイタリアの美術書など約200冊を選び、山口記念文庫として開設する運びとなりました。利用方法は通常の開架図書と全く同様ですので充分活用頂くようご案内申し上げます。



山口記念文庫設置に伴うレイアウトの変更により移設された雑誌架。もとは検索カードのあった場所。



設置された山口記念文庫。充分ご利用下さい。



始動した貸出し業務用コンピュータ。

2. 図書検索性カードボックスの撤去について

前項でお知らせしましたように山口記念文庫を開設しましたが、それに際して設置場所に悩

まされました。ご存知のようにもう図書館内は満杯です。致し方なく図書検索性のカードボックスを倉庫へ運び込み図書館外へ撤去致しまし

た。現在図書検索はコンピュータによる方式に移行しており目録カードはもう作成してありませんので、実質的な影響はほとんど無いということで今回の処置を取らせて頂くことになりました。ただどうしてもコンピュータ検索にはな

じめず、カードでないと駄目だという方がおられるかも知れませんがそれは賢沢な悩みと諦めて頂く他ありません。図書館としても最大限の協力をいたしますので、ぜひコンピュータ検索に慣れて頂くようお願い申し上げます。

~~~~~ 自 著 を 語 る ~~~~~

『現代鍼灸臨床の実際』

第五東洋医学教室 松本 勅
発行：医歯薬出版（株）1989年
定価：8,000 円

将来の鍼灸臨床に必携の書！ 近年、鍼灸の効果がかなり認められ、注目されてきております。しかし、鍼灸の評価が上げれば上がるほど、それに伴って各種、多様な疾患の患者が効果を期待して治療を求めようになり、それとともに鍼灸師の責任も重くなっています。

臨床を行うためには、診察によって病態を把握し（病変を明らかにして）、鑑別して鍼灸治療の適否を判断して、適切な治療を施すことが必要ですが、そのためには必要な知識と技術を備えていなければならないことは言うまでもありません。すなわち、現代医学（西洋医学）と東洋医学の両方の見地から病態を十分に把握し、病変の種類、部位、程度を出来るかぎり明らかにして、その総合結果（診断）に基づいて適切な治療を施し、さらに治療後に効果を正しく評価して、治療効果とその治療法の妥当性を確認することが必要です。

本学においては、1年次から現代医学、東洋医学の基礎的なことから学習を始めて、主に3年次から臨床的なことを学習しておりますが、臨床において人の身体を診察し、病態を明らかにするためには、解剖学や生理学、病理学の断片的な知識ではあまり役に立たず、身体の正常な構造と機能（機能解剖や生理）を十分に理解し、それが異常になったときにはどの様になるのか（病理）を具体的に自分や他人の身体で分かるように早くから身に着けていることが望ましいと言えます。

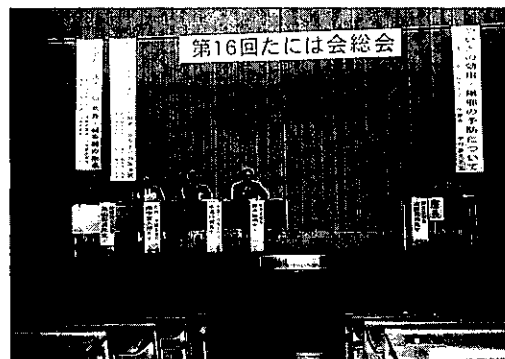
本書は、運動器系・神経系の症状、主に痛み

を中心として全身を11部位に分け、①部位別の病態把握のために必要な構造・機能とその異常等の基礎的事項と、②鍼灸師として行うことが出来る診察から鑑別に至る手順（診察の流れ）、③病態に応じた処置（治療や専門医の紹介等）について記述しています。3年次の教科書として使用していますが、1、2年次から読んでも解剖学などの基礎科目が臨床になぜ必要なのか、何が臨床にとってより必要なのかが理解でき、覚えたことが臨床に即生かされるので、早い年次からの購読を是非お勧めしたいと思います。

【各章の内容】

第1章. 頸肩部あるいは頸肩四肢の痛み、しびれ、第2章. 肩間接部痛、第3章. 肘関節部痛、第4章. 手首痛、第5章. 手部痛、第6章. 胸部、背部痛、第7章. 腰痛、殿部痛、腰下肢痛、第8章. 股関節部痛、第9章. 膝痛、第10章. 足首痛、第11章. 足部痛、

各章共に、1. 構造、機能とその異常、2. 症状の原因、3. 診察法、4. 鍼灸治療法で構成されています。



初めての試みとして、たには祭と同時に開催された同窓会、支部長懇談会。関東、東海、中、四国および九州支部長が集う。1996年10月27日撮影。

第1回平成8年5月17日

1. 報告事項

(1) 蔵書の現況

総数42,411冊で、昨年度より1,300冊の増。学術雑誌197(98)、一般雑誌24(4)、計221(102)種となった。()内は外国雑誌。視聴覚資料は640で昨年度より56の増加。

(2) 新方式での図書カードの発行について報告。現在総計197枚。

(3) 山口記念文庫を200冊程度の規模で発足させることにした。

2. 協議事項

(1) 購入を中止する雑誌について

昨年のアンケートに基き利用が無く不要と認められる以下の雑誌を来年よりの購入を中止することにした。

学術雑誌 Philosophy, Phylosophische Rundschau, Science in China, 心理学研究、教育心理学研究、気功。

一般雑誌 Medical Electronics and Equipment News, News Week, International Rehabilitation Journal Review, bit.

(2) 図書貸出自動化に伴い旧来の形態での貸出しを一度返却してもらい、新たな方式で貸出しを行なうことにした。返却が完了されない場

合新規貸出しは行なわない。

(3) 私立大学図書館協会京都地区協議会を平成9年度に当番校として主催することにした。

第2回平成8年11月8日

1. 報告事項

(1) 図書館報の発行について：学長の巻頭言を得て従来通りの方式で16号を発行する。

(2) 図書館規則、利用規定の改正：主に字句を現状と合うように改正した。また職員への貸出し期間を増加させた。

2. 協議事項

(1) 延滞者への督促と指導学生：1週間を越えた者について1カ月に2回の割りで掲示し督促を諮る。長期にわたる者については別途呼び出し個別に指導する。職員：2週間を越えた者については1カ月に1回の割りで個別に連絡し、1カ月を越える場合は別途文書で連絡する。

(2) 図書館資料の無断帯出者への処置：再度行なった者については図書館利用規定21条に基き1週間程度の図書館利用禁止の措置をとり、館長名でこれを掲示する。

(3) 来年度の新規事業：CD-ROM資料の閲覧の為の装置の設置、新規書架の設置等が提案され了承された。



恒例の、たには祭前日の鍼・動物供養。1996年10月25日撮影。



たには祭前日の鍼・動物供養。学生諸君の焼香。1996年10月25日撮影。

図書館へちよっと一言

附属図書館に期待！



洛和会丸太町病院勤務
大学4期 吉村 晶

私は卒業7年になり、時折図書館を利用させて頂いていますが、その印象と本図書館に対する期待を、私の独断と偏見に基づき、若干述べさせて頂く事にします。私は昭和61年に本学に入学しましたので、多少の中断等を入れても、本学図書館にはかれこれ11年御世話になっている事になります。

以前総合大学にいて、その巨大な中央図書館の印象を強く持っている私は、当初、本学図書館を図書室（失礼！）などと言っていた事もあります。しかしながら、その後の本学図書館の発展、充実ぶりは、そのやや小ぶりの外見とは裏腹に、大変急速であったように思います。正確な数字等の根拠が無くて恐縮ですが、附属病院の開院、大学院の開設、博士課程の設置、その他の施設、スタッフの急速な充実と軌を一にして、取扱い分野も蔵書数も他の知的資源も急速な充実をみました。特に本学の真骨頂である東洋医学関係、特に基礎的及び先端的分野では、日本唯一の鍼灸大学に相応しく、群を抜いた充実ぶりではないかと思えます。私事ですが、論文を収集する場合、特に東西両医学の境界領域では、司書の先生の親切で手際良い対応の御陰もあって、一般的な医学部の図書館よりも遥かに効率良く収集できるのはさすがと思えます。他方、西洋医学の各分野も医師の諸先生の要請に応じて揃えると云う事は、並大抵の事ではないでしょう。思うに、図書館を見ればその大学の充実ぶりがわかり、逆にその大学の業績は図書館の充実度を反映する、とは良く言われる事のようにですが、正にその通りで、絶えず鍼灸界

をリードする本学の縁の下の力持ちとして機能し続ける事は、実に特筆すべき事ではないでしょうか。本図書館を支えて下さっている諸先生のみならず、各方面の方々の地道な御尽力に深い敬意を表したいと存じます。次に、本図書館に対する期待と要望を若干申し述べたいと思います。

まず、マルチメディア化についてですが、これは入力、検索や他の事務処理の能率化に役立つだけでなく、他の図書館等との緊密なネットワークの整備が可能となり、知的資源の飛躍的充実につながると期待されます。これは本学図書館のみならず、全学的ないしは卒業生全体で協力していかなくてはならないものと思います。

次に蔵書についてですが、これ迄専門分野の充実が優先されたため、一般的な分野がやや手薄な感じがします。本学も博士課程の設置後、成長期から充実期に移りつつあると思えますので、今後期待したいところです。

施設面では、閲覧室の拡張、談話コーナーの新設等、出来れば「広さ」が欲しい所ですが、それらは増改築の際に考えて頂きたい所と言えましょう。



たには祭で居合道を演ずる剣士とそれに見入る観衆。剣士の足の裏がすこし汚い。

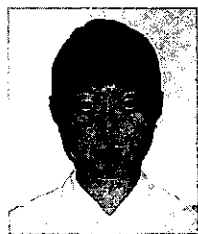
1996年10月26日撮影。

また、本学図書館の全体的な充実には、学内のみならず卒業生他の学外の協力が不可欠なのは申す迄ありませんが、今後は、そうした各層の声と力を一層有効に活用して、図書館の充

実、発展に役立てて頂きたいと思います。それには、卒業生等もより簡便に本学図書館を利用できる様にする事などが必要と思われますが、それはマルチメディア化等によって促進される事と期待しています。

最後になりましたが、本学図書館をここ迄育て、かつ一層の飛躍の為に日夜努力されている諸先生を始めとして、各方面の皆様にも厚く御礼申し上げますと共に、私如き者に寄稿する機会をお与え下さった事に謝意を表しつつ、拙文を終わらせて頂きたいと思います。

皆に聞きました・・・ 図書館をこんな風にして



1回生 阿部 歩

普段あまり図書館を利用していない私がこの原稿を書く事になってしまい、何を書けばいいのかなと悩みました。そこで、私の友人や

先輩たちからも図書館への要望を聞いてみました。色々な要望がありましたが、その中でも多かったものを書きます。

1. 一般書が少ないのが残念です。書架にある本の多くが専門書で、文芸などは殆どありません。一般書を読みたいと思っている人はたくさんいます。スペース等の問題があるとは思いますが、是非一般書のコーナーを設けて下さい。
2. 専門書の中には新しい版の本が出版されているのに古い版の本を置いてあるものがありますが、新しい内容が付け加えられている本の方が良いので、なるべく新しい本に替えて下さい。
3. 今、図書館の新聞は京都新聞ですが、その他にも、朝日、毎日、読賣、日経等の新聞も置いて下さい。
4. 開館時間をもう少し延長して欲しいと思います。今は朝9時30分から受付していますが、あと30分早くして9時から受付できる様になると、1限目が始まるまでの間に、図書を借りることができます。この原稿を頼まれた時に、過去の「駒の館だより」を読ませていただいで

参考にしました。図書が開架になったり、カードで借りることができるようになったりと、少しずつ利用し易くなってきているのだなと感じ、その陰には、図書館の方々の努力やご苦労があったのだと察しました。

細々と要望を書き連ねましたが、これは実際に利用している人たちが日頃感じていることです。少しずつでも結構ですので、よりよい図書館になるよう、図書館の方々にこれからも頑張っていたきたいと思います。

私にとっての図書館

脳神経外科 梅田 雅宏



私は元来読書が苦手で、今まで読んだ本は人に言えないほど少ないと思います。小学校の頃の夏休みの読書感想文は何よりも苦痛でした。そんな私が図書館とつきあうようになったのは受験勉強のためでした。中学や高校の頃、夏になると良く近くの区立の図書館へ通ったものです。その目的はクーラーの効いた閲覧室にありました。当時、クーラーはデパートか銀行にしかなく、その涼しさはとても魅力的でした。その図書館は私の家から自転車で15分くらいのところにありました。そこには200人以上入る比較的大きな閲覧室がありました。夏休みは特に人気が高く、ピーク時には開館30分前くらいから入館を待つ列に並ばないと入れないこともありました。開館時間を過ぎて到着したために、入館できたのが午後になってしまったこともありました。こうしてせっかく入れた図書館をおいそれとはでられません。図書館の売店で昼に売り出されるパンを買って求めて昼食を済ませました。そして、時には一日中図書館の中で過ごすこともありました。かといって、一日中閲覧室で勉強ばかりしてた訳ではありませんでした。机で寝ることもよくありました。ときどきは気晴ら

しに散歩もしました。といっても館内に庭があるわけではありません。書庫の中をうろうろするのです。そうしているうちに、興味を引く題名の本に出会うことができました。それらの本を手にとってページをめくっていくうちに読みたくなる本もありました。これらの本は勉強の合間に読んだものもありました。時間のかかりそうな本は後で読もうと心に留めておきました。その中の一つに中学の時に見つけた対数の計算の本がありました。題名は忘れてしまいましたが対数の話を一般向けに比較的わかりやすく解説してありました。対数と言う言葉はその時の私にとって未知の世界でした。それまでに教わったことのないもので、かけ算やわり算が対数表を使ってたちどころにできてしまいました。中学で計算尺を使ったことのある私にとって、対数の計算の原理にはその謎解きのようなおもしろさがありました。また高校の時はフリーマン著の力学の本がそれでした。高校が終わった夏休みに読みました。私の選んだその本はフリーマンが大学で行った講義をまとめたものでした。多くの専門書は難解な単語と言い

回しが多いものですが、その本の文章はとても親しみやすい点が魅力的でした。それでもそれまで受験のために勉強してきた教材にない物理の世界がそこにありました。大学に入ると図書館はレポートを書くときだけの部屋になりました。多くの大学生と同様、私もそれほど勉強に熱心ではなく、クラブなどの活動にエネルギーを注いでいました。私の通った大学の図書館は本を手にとることができる書棚は閲覧室にある僅かなものだけでした。これは私が図書館に興味を示さなかった理由の一つに挙げられるかもしれません。しかし、私が大学3年の時、図書館でアルバイトの募集があり、早速友人とそのアルバイトに応募しました。仕事は5時以降の



建設途中の日吉ダム。中の大橋より望む。
1996年4月12日撮影。

図書館受付でした。私が勤めた図書館は理工学部にある分館で、5時以降は授業が少なく、図書館を利用する人もあまり人が多くありませんでした。仕事も貸し出しの手続きや、雑誌の製本の下準備、コピーサービスなど比較的楽なもので、学内なので通勤時間は無いに等しく、アルバイト料が安くともとても学生の私にとって有利なものでした。このアルバイトの利点は他にもありました。それは他の学生に貸し出しを頼まれた本を探して廻りながら書棚をいろいろみて歩くことが出来ました。たくさんの書庫の間を回ると、図書館にいるという実感がありました。今ではその図書館は本館と統一化され、書庫はコンピュータ管理されていると聞いています。出版物は年々増え、コンピュータによる

検索システムも次第に進み、必要な本を検索して、それを借りて読むといったことが一般的になりました。今住んでいる大井にあるの亀岡図書館分室でも、検索によりそこにはない本を予約で借りることが出来るようになっていきます。必要な本、

目的のある本が分かっている時はそういうシステムは非常に便利です。本の購入でも最近では電話や、コンピュータネットワークを使って注文できるようになっています。そうした時代の流れの中で図書館は本のある空間というより、本の倉庫と本と我々をつなぐコンピュータ、そしてそれらの本を読むための閲覧室から成り立つ建物になるのは仕方ないのかもしれない。しかし、これからは検索を行うシステムももっとも進んで、多くの文字や画像データが扱えるようになり、バーチャル書庫なるものが出現するのを楽しみにしています。その中では、書庫の中を巡って、書棚に並んだ本をランダムに選んで中をめくることが出来ます。そうしてこれぞと

思う本を借りるのです。今の検索システムでも用は足りるのですが、退屈のぎに検索をかけるということはあまり無いと思います。退屈のぎに検索するなどというのは不謹慎な話だといわれる方もいらっしゃるかもしれません。でも、今はインターネットサーフィン言葉も現れて、情報の中をウインドショッピングのようにうろろする時代です。今思うと書棚の間を

うろろするのはインターネットサーフィンの実体験版だったのかもしれませんが。図書館には集めた情報を利用する機能だけでなく、くつろいで情報を摘んで楽しむ部分があつてもいいのではないかと思います。こういう偶然の情報との出会いに発展のきっかけが隠されていることもあると思います。

【書評】 私のおすすめの一冊

南郷継正著・「**武道の理論**」三一書房、580円、

物理教室 森本安夫

私事にわたって恐縮であるが、私は高校時代柔道にのめり込んだ。毎日放課後7時を過ぎるまで畳の上を這いずり回った。夏休みの暑い日も狂ったように裏山の坂道を走り込んだ。もっともそれで同輩よりも強くなることはなかった。何故か。私は小さい頃虚弱児だった。かつ母子家庭で一人っ子であったため、世の通例の如く溺愛された。ために学校の成績だけはよく、小憎らしい存在だった。当然いじめの対象になる。幸い教師が味方をしてくれたため、大事には至らなかったが当時のことを思い出すと背筋に冷たいものが走る。子供は単純明快である。強くなりたいと願った。どうすれば強くなれるのか？

“武器を持つことである”とこの著者は言う。武器をもつことで弱者は強者に対抗する力を持つことができる。しかしこのご時世にピストルやナイフを持ち歩くわけにはゆかぬ。ではどうするか？おのが五体を武器にすればよい。それにはどのような訓練が必要となるのか。著者は従来経験的にしか語られなかったこの部分—上達論、教育論—に科学的な理論体系を確立したと主張する。科学とは数式や数値を持ち出すことではない。事物それ自体からその論理を引き出すことである。曰く我々は日常生活を営んでいる。その行動はいわば人間技といえる。これを武技につくりかえなければならない。この作業は例えて言えば平和な家庭に見しらぬ人を住

まわせるようなものであり、一種の違和感を克服しなければならぬ。動作はギコチなくなり、練習する程に弱くなる時期があるのだ。一等々のことがまことに論理的に述べられてゆく。そのつれづれに極意とは何か、型の役割とは何かといった事柄が説明されて行き、つまるところは人間の認識の問題なのだという結論が導かれる。多くのユニークな視点が著者によって導かれている。全てを紹介することは無理だか印象に残ったものを二つ紹介しておこう。

#1：武術には“待ち時間”がないため（攻撃、防御はしようが、すまいが勝手）武技をつくる場と、これを使う（変化させる）場は明確に区別されなければならない。それが他のスポーツ—野球やテニ



4月25日に開催された観桜茶会。しだれ桜が趣を添える。

スーとか碁、将棋といったものとは全く異なる上達論を持たねばならぬ。この議論は武術における型の役割や、強さを競いあう試合、組手に対する批判を生み話は尽きない。

#2：武技を使うのは心であるから心自身も武技化されなければならない。糞度胸というやつだ。心と体に相互作用があるのは自明の事実だ。体を武技化するとそれが心を鍛えそれがまた体を鍛えてゆくという過程を経る。このため、修業は意識的に、すなわち目的を持ってなされなければ上達しない。親の仇を討つための努力は実りやすい。・・・云々。

私が柔道を始めた高校時代、ガムシャラに稽古を積む以外に方法はなく、そうするうちに自分の知らぬ間になんとか強くなっていくという形態だった。当時体が小さくて力の弱い者が柔道や空手を志すのは、一種うちひしがれた人達であって、鬱屈した生活を送った経緯を持っていたことが多かった。彼らは強くなることに憧れ武術の門をたたくが、ほとんどの場合浮世と同じく体が大きくて力の強い者には勝てぬことを思い知らされたはずだ。剛よく柔を制する

のである。しかしそれでは弱い者は浮かばれない。“何かあるはずだ”との思いは秘伝、秘術を夢見るのだが著者の理論はその存在をもまた無残に否定してしまう。つまるところは人間の問題なのだという。弱者はそこに希望をみるのか、あるいは絶望を垣間見るのか、これこそが人間の問題なのだろうか。

武術は人間の行為であるから文学、音楽や美術と同じく文化的活動であるにかかわらずいまだに奇異の目を以てみられている分野である。それは人を殺傷することを目的にするという異常性によるのであろう。しかしそれは決して異常ではないのだということを認識すべきではあるまいか。それが本書推薦の理由である。文章は著者の哲学好き（今は懐かしいマルキシズムを色濃く含んでいる）を反映して、幾分の恰好よさを含んだ名調子である。参考までに著者の武道に関する著作を挙げておこう。出版社は全て三一書房である。

1. 武道の復権、1975年5月、700円。
2. 武道とは何か、1977年12月、1,340円。
3. 武道への道、1979年3月、750円。
4. 武道修業の道、1980年3月、750円。
5. 武道の科学、1991年5月、900円。
6. 空手道綱要、1992年9月、950円。



美山町由良川沿いの大野ダム、桜祭り。湖面に花びらが映える。1996年4月22日撮影。

図書館データ、データ

— 雑誌 — 覧 —

附属図書館

外国学術雑誌一覧

ABC 順 (1997.1現在購読)

この欄は今まで蔵書数とか開架図書数とか数値データを紹介してきたが今回は趣を変えて図書館で購入している雑誌(逐次刊行物)を紹介する。これについては別にここで紹介するまでもなく雑誌架の脇に一覧表としてぶら下げているのだから目立たないせいか質問が絶えない。そのため改めてここでとりあげることにした。

どんな雑誌を購入するかは意外に難しい。理想としては教官、学生の希望を全て要求通りに揃えればよいのだろうが、費用、保管場所、品位の問題でそうはいかない。結局各部署からあがってきたもの、図書館で選定したものを運営委員会で審議し決定することになる。もちろん一度決めると永久不変ということではないがそうそう変更するわけにもいかない。これから示すものは当面、約5年くらいは変わらないものと思って頂いてさしつかえない。もちろん、予算でもなにかのひょうしにドンと増えでもすれば別だが。なお雑誌は一般雑誌と学術雑誌に大別され前者は3年間保存して廃棄処分し、後者は製本して永久保存され研究、教育の参考資料となる。どれを一般雑誌といい、どれを学術雑誌とするか判断に窮することがしばしばある。そんな場合は可能な限り学術雑誌として保存するよう注意している。ご意見を頂戴できれば幸いである。

なお雑誌類は特別の場合を除いては図書館よりの帯出は禁止されている。それは誰がいつまでも利用できるようにするためである。くれぐれも無断で気軽に持ち出されることの無いようお願いする。

- 1 Acta Anatomica.
- 2 Acupuncture and Electro-Therapeutics Research.
- 3 Akupunktrarzt Aurikulotherapeu.
- 4 Alternative and Complementary Therapies.
- 5 American Journal of Acupuncture.
- 6 American Journal of Chinese Medicine.
- 7 American Journal of Physical Medicine and Rehabilitation.
- 8 American Journal of Sports Medicine.
- 9 American Journal of Obstetrics and Gynecology.
- 10 Anatomy and Embryology.
- 11 Archives Physical Medicine and Rehabilitation.
- 12 Biochimica et Biophysica Acta: Bioenergetics.
- 13 Biophysical Journal.
- 14 Blood.
- 15 Cancer.
- 16 Cell.
- 17 Cell Proliferation.
- 18 Cell and Tissue Research.
- 19 Chinese Medical Journal.
- 20 Clinical and Experimental Immunology.
- 21 Clinical Journal of Pain.
- 22 Clinical Orthopaedics and Related Research.
- 23 Current Awareness Topics Services Complementary Medicine Index.
- 24 Current Awareness Topics Services Physiotherapy Index.
- 25 Developmental Immunology.
- 26 Diabetes.
- 27 Diabetologia.
- 28 Electroencephalography and Clinical Neurophysiology.

- 29 European Biophysics Journal.
- 30 European Archives Otorhinola-ryngology.
- 31 Excerpta Medica, Section.19.
- 32 Experimental Neurology.
- 33 Gastroenterology.
- 34 Health Psychology.
- 35 Hepatology.
- 36 Human Pathology.
- 37 International Journal of Clinical Acupuncture.
- 38 International Journal of Obesity.
- 39 Immunology.
- 40 Index Medicus.
- 41 Journal of Bone and Joint Surgery.
- 42 Journal. of Cell Biology.
- 43 Journal. of Cerebral Blood Flow and Metabolism.
- 44 Journal of General Physiology.
- 45 Journal of Magnetic Resonance.
- 46 Journal of Neurochemistry.
- 47 Journal of Physical Society Japan.
- 48 Journal of Physiology.
- 49 Journal of Experimental Medicine.
- 50 Journal of Immunology.
- 51 Japanese Journal of Cancer Research.
- 52 Japanese Journal of Physioly.
- 53 Journal of Traditional Chinese Medicine.
- 54 Journal of Neurophysiology.
- 55 Jounal of Personality Assessment.
- 56 Life Science.
- 57 Magnetic Resonance Imaging.
- 58 Metabolism.
- 59 Microbiology and Immunology.
- 60 Nature.
- 61 Neuroscience.
- 62 Neurobiology.
- 63 Neuroscience Letters.
- 64 New England Journal of Medicine.
- 65 NMR in Biomedicine.
- 66 Obstetrics and Gynecology.
- 67 Pain.
- 68 Pain Reviews.
- 69 Pharmacological Reviews.
- 70 Physiological Reviews.
- 71 Progress in Biophysics and Molecular Biology.
- 72 Proccedings of National Academy of Sciences of the U.S.A.
- 73 Progress of Theoretical Physics.
- 74 Radiology.
- 75 Science.
- 76 The Lancet.
- 77 Ultramicroscopy.
- 78 World Journal of Acupuncture and Moxibustion.
- 79 医古文知識
- 80 四川中医
- 81 針刺研究
- 82 新中医
- 83 上海針灸雜誌
- 84 上海医学
- 85 北京医学
- 86 北京中医
- 87 浙江中医雜誌
- 88 天津中医
- 89 中華医史雜誌
- 90 中国針灸
- 91 中華 藥
- 92 中華理療雜誌
- 93 中華氣功
- 94 中華物理医学雜誌



たには祭にて初めて出展された特別養護老人ホーム、はぎの里の作品群。“ムムウまい”とは現役書道部の声。

- 95 中医雑誌
- 96 中国医学文摘
- 97 中国中西医结合雑誌

外国一般雑誌一覧 (1997.1現在購読)

- 1 Currnent Contens on Diskette.(Life Sciences)

内国学術雑誌一覧

50音順

(1997.1 現在購読・寄贈・移管)

- 1 医科器械学
- 2 医学教育
- 3 医学のあゆみ
- 4 医学中央雑誌
- 5 医道の日本
- 6 医用電子と生体工学
- 7 遺伝
- 8 科学
- 9 化学と生物
- 10 からだの科学
- 11 漢方研究
- 12 漢方の臨床
- 13 看護学雑誌
- 14 季刊 東洋医学
- 15 血液・腫瘍科
- 16 経絡治療
- 17 健康教室
- 18 外科
- 19 現代東洋医学
- 20 呼吸と循環
- 21 コーチング・クリニック
- 22 最新医学
- 23 細胞
- 24 産科と婦人科
- 25 産婦人科治療
- 26 Gpnet
- 27 消火器外科
- 28 鍼灸 OSAKA
- 29 神経研究の進歩
- 30 心身医学
- 31 診断と治療

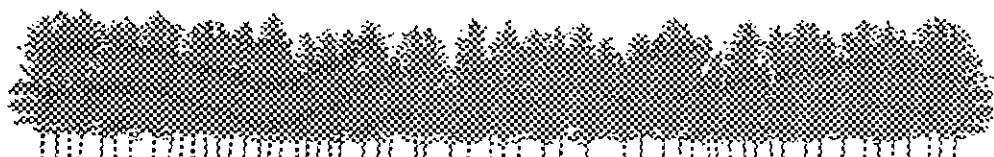
- 2 JAMA
- 33 Japanese Journal of Sports Sciences
- 34 Journal of Clinical Rehabilitation
- 35 耳鼻咽喉科・頭頸部外科
- 36 自律神経
- 37 数理科学
- 38 生体の科学
- 39 生物物理
- 40 生物科学
- 41 整形外科
- 42 生化学
- 43 精神医学
- 44 全日本鍼灸学会雑誌
- 45 総合リハビリテーション
- 46 総合臨床
- 47 中西医结合
- 48 蛋白質・核酸・酵素
- 49 治療
- 50 治療学
- 51 中医臨床
- 52 電子通信学会論文誌
- 53 糖尿病
- 54 東洋療法学校協会学会誌
- 55 東洋医学
- 56 東洋医学とペインクリニック
- 57 内科
- 58 日経サイエンス
- 59 日本医事新報
- 60 日本医史学雑誌
- 61 日本生理学雑誌
- 62 日本歯科評論
- 63 日本歯科東洋医学会誌
- 64 日本整形外科学会雑誌
- 65 日本東洋医学雑誌
- 66 日本耳鼻咽喉科学会会報
- 67 日本物理学会誌
- 68 日本温泉気候物理医学会雑誌
- 69 日本鍼灸良導絡医学会誌
- 70 日本良導絡自律神経学会雑誌
- 71 脳神経外科
- 72 脳と神経
- 73 脳波と筋電図

- 74 Biotherapy
- 75 病態生理
- 76 物性研究
- 77 ペインクリニック
- 78 ホルモンと臨床
- 79 麻酔
- 80 Mebio
- 81 Medicina
- 82 Molecular Medicine
- 83 理学療法ジャーナル
- 84 リハビリテーション
- 85 リハビリテーション医学
- 86 理療87 臨床栄養
- 88 臨床画像
- 89 臨床検査
- 90 臨床スポーツ医学
- 91 臨床整形外科
- 92 臨床成人病
- 93 臨床精神医学
- 94 臨床麻酔
- 95 臨床脳波
- 96 臨床病理
- 97 臨床眼科

98 老年医学

内国一般雑誌一覧 (1997.1 現在購読)
50音順

- 1 アサヒグラフ
- 2 科学朝日
- 3 教育と医学
- 4 基礎ドイツ語
- 5 芸術新潮
- 6 現代思想
- 7 こころの科学
- 8 時事英語研究
- 9 数学セミナー
- 10 中央公論
- 11 中国語講座 NHK ラジオ
- 12 天文ガイド
- 13 日経メディカル
- 14 丹の街
- 15 ニュートン
- 16 プレジデント
- 17 文学
- 18 文芸春秋
- 19 毎日ライフ



著作物の再販制度の見直しについて

附属図書館 福田代見

最近よく新聞等で「再販売価格維持制度」略して「再販制度」についての記事を目にする。これはメーカーが小売店に対してある商品の価格を拘束することを独禁法の例外措置として認めている制度である。この商品は1,030円以下の化粧品と医薬品の一部そして「著作物」である。

公正取引委員会では、規制緩和対策の一環として平成4年以降、著作物の再販制度について総合的な見直し作業を行っている。その中で再販問題検討小委員会が、国民に広く議論をしていただきその意見を求める為ということで中間報告を発表した。この中間報告を受けて日本図書館協会は再販制存続の決議を行った。今回、これらの主張に対する概要を紹介する。

再販問題検討小委員会の「中間報告」の概要

1. 著作物の再販制度は、導入から40年以上を経過しているので見直しが必要だ。例外を許容するには、国民が納得し得る理由が必要である。
2. 再販制度の下では、流通システムが固定化し、多様な消費者ニーズへ対応が不十分になる。
3. 現行制度の趣旨とされている定価販売の慣行、非代替性、文化の普及ということについては我が国の経済環境や流通実態、消費行動が大きく変化している現在では理由にならない。再販制度により消費者が現実商品を購入する機会・便益が確保されているかとの観点から考えるべきである。

「中間報告について」の日本図書館協会の見解

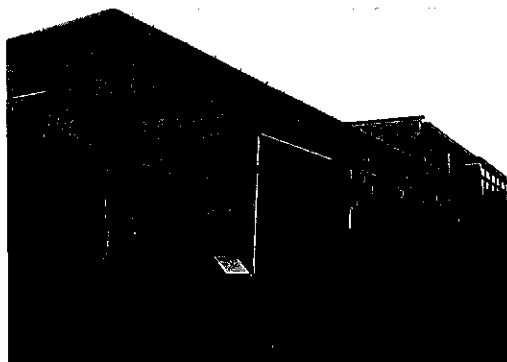
1. これまでに発表された各種アンケートの結果によれば、著作物の再販については国民の8割は継続されることを希望しており、他の商品と、同質のものとの認識をもっていないことは明らかだ。

これは、1991年「独禁法適用除外制度見直し」や、1992年「レコード、音楽用テープ、CDの再販適用除外の取扱いに関する公正取引委員会の見解」によっても確認されている。このことは、中間報告でいう40年の経過云々がおかしく、いま特に見直しが求められる新たな状況が生じたとは考えられない。

2. 再販制度の下での問題については、著作物を単に「出版産業」とした立場から見ており、「出版文化」としてとらえている図書館の立場からは容認することはできない。
3. 再販制が価格の硬直化をもたらしているとしているが、再販廃止後に出版物の価格が安くなるという確たる見通しが無い。逆に、地方書店の現状からすれば、地域差から生ずるコスト高により「地方価格」として値上がりが見込まれる。
4. 図書館運営の立場から再販制が廃止されることになれば、(1) 特定の出版社だけによる限られた出版物の寡占化が進むことになりかねない。(2) 書店間で値引競争が起こって売れ行きの少ない堅い本や専門書は店頭と並ばなくなる。そしてこれらの書籍は中小出版社により出版されるものが多く、過激な価格競争から出版社

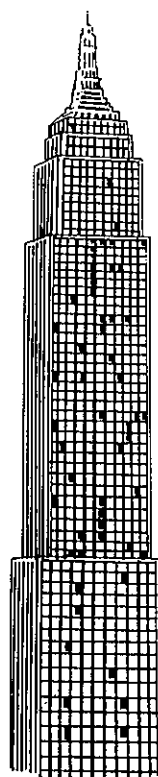
は倒産することも予想される。そうなればまさに国民の知る権利を保障している言論・出版の自由が侵害されるものである。また、その反面大手書店の地方進出や大手出版社の直営店等が進められ、それによって地方における出版流通の過疎化や書店の無い地域が拡大され、中間報告で述べている「消費者ニーズ」に応えることとは逆行することになる。

以上のように現在いろいろと議論がなされている。外国においては再販制度のない国もあるし、あってもその内容が国によって違う。この再販問題については著作物の特性に注意を払いつつ、結局は消費者（利用者）にとって一番利益になるような結論を出していただくようお願いしたい。



今は懐かしの体育館。1996年9月には取り壊された。その直後撮影。

写真部提供。 下段は同内部。



新着東医系図書及び医学系視聴覚資料一覧

(平成7年1月～12月収蔵分)

- | | |
|--|--|
| 中医学の基礎 平馬直樹, 兵頭明, 路京華等監修
東洋学術出版社 1995.11 | 協会編
医道の日本社 1995.03 |
| 傷寒論講義 木村長久筆受 木村博昭訳
春陽堂書店 1991.06 | 中国医学古典と日本 一書誌と伝承一 小曾戸洋著
塙書房1996.02 |
| 東洋医学概論教科書 執筆小委員会著 東洋療法学校
協会編 医道の日本社1995.03 | 医心方統編1 古鈔本樽雑集(一)
オリент出版社 1995.07 |
| アジアの医学 一インド・中国の伝統医学一
ピエール・ユアール, ジャン・ボッシー等著 赤松
明彦等訳 せりか書房1991.10 | 医心方統編2 古鈔本樽雑集(二)
オリент出版社 1995.07 |
| 古典医書ダイジェスト 山本徳子著
医道の日本社 1996.01 | 医心方統編3 古鈔本樽雑集(三)
オリент出版社 1995.07 |
| 東洋医学概説 長濱善夫著 創元社 1993.03 | 医心方統編4 古鈔本樽雑集(四)
オリент出版社 1995.07 |
| 世界伝統医学大全 WHO編 津谷喜一郎訳
平凡社 1995.02 | 医心方統編5 古鈔本樽雑集(五)
オリент出版社 1995.07 |
| こころとからだ 一中国古代における身体の思想一
石田秀実著 中国書店 1995.01 | 医心方統編6 古鈔本樽雑集(六)
オリент出版社 1995.07 |
| 中医心理学 一中国漢方心身医学一 王米渠等原著
磯島正監修 小野正弘等訳 たにぐち書店1996.02 | 臨床漢方 病証学叢書7 医学管錐上
オリент出版社 1996.07 |
| 解説(五), 四診書(五) (臨床漢方診断学叢書25)
オリент臨床文献研究所監修
オリент出版 1995.12 | 臨床漢方 病証学叢書8 医学管錐下
オリент出版社 1996.07 |
| 四診書(六), 望診書(四), 問診書(三)
(臨床漢方診断学叢書26) オリент臨床文献研
究所監修 オリент出版 1995.12 | 臨床漢方 病証学叢書9 医教指南, 施治攬要
オリент出版社 1996.07 |
| 脈診書(十一) (臨床漢方診断学叢書27) オリент
臨床文献研究所監修 オリент出版 1995.12 | 臨床漢方 病証学叢書10 医篋上
オリент出版社 1996.07 |
| 舌診書(五), 腹診書(五) (臨床漢方診断学叢書28)
オリент臨床文献研究所監修
オリент出版 1995.12 | 臨床漢方 病証学叢書11 医篋下
オリент出版社 1996.07 |
| 基礎理論(五) (臨床漢方診断学叢書29)
オリент臨床文献研究所監修
オリент出版1995.12 | 臨床漢方 病証学叢書12 疾雅
オリент出版社 1996.07 |
| 基礎理論(六), 医案(五) (臨床漢方診断学叢書30)
オリент臨床文献研究所監修
オリент出版 1995.12 | 曲直瀬道三全集 第一巻類證弁異全九集, 授蒙聖功方
篠原孝市監修 オリент出版社 1995.10 |
| 東洋医学概論 教科書執筆小委員会著 東洋療法学校 | 曲直瀬道三全集 第二巻辞俗功聖方, 日用薬性能毒,
雲陣夜話, 鍼灸集要, 退齡小児方, 可有録
篠原孝市監修 オリент出版社 1995.10 |
| | 曲直瀬道三全集 第三巻広観摘英集, 弁證配剤医燈,
切紙篠原孝市監修 オリент出版社 1995.10 |
| | 曲直瀬道三全集 第四巻啓迪集一 篠原孝市監修
オリент出版社 1995.10 |

- 曲直瀬道三全集 第五巻啓迪集二 篠原孝市監修
オリエント出版社 1995.10
- 曲直瀬道三全集 第六巻脈論, 医家要語集, 診脈口伝集, 捷徑弁治集, 老師雜話記, 藥種性味功能直伝, 炮灸撮要, 診切枢要 篠原孝市監修
オリエント出版社 1995.10
- 皮膚科における漢方治療の現況7 皮膚科東洋医学研究会編 総合医学社 1996.05
- アトピー性皮膚炎の漢方治療(中医臨床シリーズ1) 中医臨床編集部編 東洋学術出版社 1996.05
- 氣功医学 伊藤鉄民著 健友館 1996.05
- 東洋医学を知っていますか(新潮選書) 三浦於菟著 新潮社 1996.05
- 漢方診断法 松下嘉一著 たにぐち書店 1996.03
- The essential book of traditional Chinese medicine. Vol.2. Clinical practice. Liu Yanchi Columbia University Press 1988.
- The Shambhala guide to traditional Chinese medicine. R Daniel Reid. Shambhala 1996.
- Oriental medicine. Jan Van Alphen, Anthony Aris. (ed.) Shambhala 1995.
- 漢方用語大辞典 創医学会術部主編 燎原書店 1995.09
- 中国漢方医語辞典 中医研究院等編著 中国漢方 1993.07
- 足の反射療法 Hanne Marquardt著 吉元昭治, 星野益孝訳 医道の日本社 1994.01
- 足の反射療法 教本実技編 吉元昭治, 星野益孝著 医道の日本社 1994.11
- トリガーポイント鍼療法 BPeter E. Baldry著 川喜田健司監訳 医道の日本 1995.08
- 黄帝内経注解叢刊1 素問糾略, 読素問鈔(三巻本), 黄帝素問鈔, 素問鈔補正, 読素問鈔(十二巻本) 篠原孝市監修 オリエント出版 1993.08
- 黄帝内経注解叢刊2 黄帝内経素問註證発微 篠原孝市監修 オリエント出版 1993.08
- 黄帝内経注解叢刊3 素問心得, 素問呉註 篠原孝市監修 オリエント出版 1993.08
- 黄帝内経注解叢刊4 黄帝内経素問節文註釈 篠原孝市監修 オリエント出版 1993.08
- 黄帝内経注解叢刊5 素問集注, 素問直解 篠原孝市監修 オリエント出版 1993.08
- 黄帝内経注解叢刊6 素問懸解(後附: 校余偶識), 素問釈義 篠原孝市監修 オリエント出版 1993.08
- 黄帝内経注解叢刊7 黄帝内経靈枢註證発微, 靈枢心得 篠原孝市監修 オリエント出版 1993.08
- 黄帝内経注解叢刊8 靈枢集注, 靈枢懸解 篠原孝市監修 オリエント出版 1993.08
- 黄帝内経注解叢刊9 類経 篠原孝市監修 オリエント出版 1993.08
- 黄帝内経注解叢刊10 内経知要, 素問靈枢類纂約註, 先秦韻読(抄), 読書余録(抄), 黄帝内経素問校義, 札逸(抄), 香草統校書(抄)他 篠原孝市監修 オリエント出版 1993.08
- 黄帝内経版本叢刊1 元・古林書堂刊本 新刊補註釈文黄帝内経素問, 明・熊宗立刊本 新刊補註釈文黄帝内経素問 篠原孝市監修 オリエント出版 1993.01
- 黄帝内経版本叢刊2 明・趙府居敬堂刊本 補註釈文黄帝内経素問 篠原孝市監修 オリエント出版 1993.01
- 黄帝内経版本叢刊3 明・詹林所刊本 京本校正註釈音文黄帝内経素問, 朝鮮刊小字整版本 新刊補註釈文黄帝内経素問 篠原孝市監修 オリエント出版 1993.01
- 黄帝内経版本叢刊4 朝鮮刊活字本 新刊補註釈文黄帝内経素問 篠原孝市監修 オリエント出版 1993.01
- 黄帝内経版本叢刊5 明・吳梯刊本 黄帝内経素問, 明・吳勉学刊本 重広補註黄帝内経素問 篠原孝市監修 オリエント出版 1993.01
- 黄帝内経版本叢刊6 明・周曰刊本 重広補註黄帝内経素問 篠原孝市監修 オリエント出版 1993.01
- 黄帝内経版本叢刊7 明・潘之恒黄海本 黄帝内経素問 篠原孝市監修 オリエント出版 1993.01
- 黄帝内経版本叢刊8 正統道蔵本 黄帝内経素問補註釈文, 正統道蔵本 黄帝内経靈枢略, 正統道蔵本 黄帝素問靈枢集註, 正統道蔵本 黄帝内経素問遺 篠原孝市監修 オリエント出版 1993.01

黄帝内経版本叢刊9 元・古林書堂刊本 新刊黄帝内
 経靈枢、明・熊宗立刊本 新刊黄帝内経靈枢、明・
 詹林所刊本 京本黄帝内経靈枢 他 篠原孝市監修
 オリエン特出版 1993.01

日本刺絡学会編 緑書房 1996.04

臨床針灸処方の実際 図解 一病名・病症から配穴を
 導く一 国際中医学研究会編 緑書房 1995.10

傷寒論鍼灸配穴選注 単玉堂著 木田一步訳
 緑書房 1996.03

臨床針灸処方の実際 図解 一病名・病症から配穴を
 導く一 国際中医学研究会編 緑書房 1995.10

経穴主治症要覧 本間祥白著 医道の日本 1987.04

難病の鍼灸治療 張仁著 浅野周訳 緑書房 1996.03

刺絡鍼灸マニュアル 写真で見る 一初歩から臨床応
 用まで一 日本刺絡学会編 緑書房 1996.04

臨床応用 素問・靈枢 原田康治著 緑書房 1996.02

鍼灸医学概論 改訂増補 黒野保三著
 東洋医学研究財団 1996.10

素問紹識 定本 多紀元堅著 日本内経医学会 1996.10

素問紹識 大阪大学附属図書館所蔵自筆稿本
 多紀元堅著 日本内経医学会 1996.10

百々家本東洋医学稀書選集 第一冊 百々鳩窓
 素問存疑(上) 谷田伸治編集・解説
 オリエン特出版 1995.06

百々家本東洋医学稀書選集 第二冊 百々鳩窓 素問
 存疑(下) 谷田伸治編集・解説
 オリエン特出版 1995.06

百々家本東洋医学稀書選集 第三冊 百々鳩窓 靈枢
 存疑(上) 谷田伸治編集・解説
 オリエン特出版 1995.06

百々家本東洋医学稀書選集 第四冊 百々鳩窓 靈枢
 存疑(下) 難経存疑 谷田伸治編集・解説
 オリエン特出版 1995.06

百々家本東洋医学稀書選集 第五冊 百々鳩窓 傷寒
 論存疑 百々鳩窓写 古本傷寒論 谷田伸治編集・
 解説
 オリエン特出版 1995.06

百々家本東洋医学稀書選集 第六冊 百々鳩窓 金匱
 存疑 谷田伸治編集・解説
 オリエン特出版 1995.06

臨床実践 家伝・秘伝・灸書集成 第一冊 座右抄
 四花灸 統添要穴集 医方選集秘伝抄 卷之五・灸

法 灸治要穴記 灸所拔書之秘伝 灸経 オリエン
 ト臨床文献研究所監修

オリエン特出版 1996.10

臨床実践 家伝・秘伝・灸書集成 第二冊 吉氏家伝
 灸穴 日用灸法 啓迪庵 日用灸法 医教正意 卷
 之二・経穴之篇 灸法要穴 経穴機要 医学詳解
 他 オリエン特臨床文献研究所監修

オリエン特出版 1996.10

臨床実践 家伝・秘伝・灸書集成 第三冊 経兪問津
 録 灸炳要覧 オリエン特臨床文献研究所監修

オリエン特出版 1996.10

臨床実践 家伝・秘伝・灸書集成 第四冊 必用灸穴
 秘決 秘穴授調 灸説 五極灸訣 異人秘授五極
 留春堂灸点書 艾灸通説 鍼灸燈下余録 他 オリ
 エント臨床文献研究所監修 オリエン特出版1996.10

臨床実践 家伝・秘伝・灸書集成 第五冊 秘伝灸穴
 集 灸穴集 灸穴図解 灸炳塩土伝 灸炳塩土伝
 異本 名家灸選 続名家灸選 名家灸選三編 他
 オリエン特臨床文献研究所監修

オリエン特出版 1996.10

臨床実践 家伝・秘伝・灸書集成 第六冊 癰疽八穴
 灸法解 四花膏腎図説 鍼灸記聞 背部十対二十穴
 図 一灸万全 長寿養生灸治論伝記 他 オリエン
 ト臨床文献研究所監修 オリエン特出版 1996.10

難病の鍼灸治療 張仁著 浅野周訳 緑書房 1996.03

臨床経絡現象学 劉澄中著 大连出版 1994.12

Chasing the Dragon's tail. MYoshio Manaka,
 Kazuko Itaya, Stephen Birch.

Paradigm Publications 1995.

これが整体法だ!! 環椎骨盤矯正法 APT療法
 永井康雄著 東洋医学舎 1996.02

〔視聴覚資料〕

医療面接のテクニック 一短時間で良好な医師患者関
 係を作るために一 (日経メディカル・ビデオ14)
 日経メディカル編集・企画 日経BP社 1995.10

告知を問題にするわけ 1. 「有終の美」にむけて

日野原重明著 トロワモンジュ

告知を問題にするわけ 2. 告知の前後

日野原重明著 トロワモンジュ

21世紀へ、医の展望 1. 医学・医療はいかに在る
 べきか 日野原重明著 トロワモンジュ

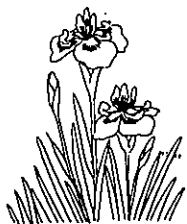
権とサイエンス- 日野原重明著 トロワモンジュ
東洋医学原典総覧 1. 小林健二編著

日常診療に活かす漢方医学 -診断と処方- (日経メ
ディカル・ビデオ12) 日経メディカル編集・企画

名著普及会 1996.06

日経BP社 1995.10

中医舌苔図譜 宋天彬編著



グラウンド造成工事のためグラウンドへの進入路閉鎖。
平成10年に体育館、陸上競技場が完成予定。



もう見れなくなった懐かしのグラウンドの三本杉
(実は4本杉)。 1996年2月撮影。



編集後記

○本年度は博士課程の完成年度にあたるので学長にそれを記念する巻頭言をお願いした。最近はやりの電子化、ネットワーク化と同時に古典文献への強い想いが吐露されている。図書館としては張り切らざるを得ないが頭の痛いところでもある。費用、手間、人員、施設……。言い出すと行きが無いな、こりゃ。○年来のテーマであった貸出業務の自動化が始動した。残念ながら旧態での貸出分の返却が終わっておらず完全には新方式に移行していない。皆さんに返却を呼び掛けているところである。是非ご協力を、○図書館データとして購入雑誌一覧を掲載した。図書館へ来てリストを見れば分かることではあるがあまり目にもすることも無いだろう。保存版として所有して頂ければ幸いである。○今回はカット写真の題材が豊富だった。新駅、たには祭での同窓会、グラウンドの造成工事。また名勝としては大野ダムの桜祭りを紹介した。他にも面白いネタがあったら教えて下さい。○今回より新欄“自著を語る”を設けた。各先生の著書を宣伝を込めて紹介してもらおうことにした。初回は第5 東医の松本教授をお願いした。以後著書をお持ちの先生方に順次お願いにのぼることと思います。その際はよろしくご協力の程お願い申し上げます。